

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立幸小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	・児童が、自らが生活している地域に目を向け、知りたいという思いをもち、自ら調べたり、知ったことを学習場面に生かしたりすることができるようになった。 ・立川市民科公開講座（学習発表会）における発表により、幸小学校での取り組み内容について、広めることができた。
立川市民科の取組の課題	・学年毎の指導計画の見直しは、毎年行っているが、6年間の学習を意識して、段階を踏んだ学習内容にしていく必要があると感じる。 毎学期の学習内容の振り返りや、新たな地域人材の発掘・活用を意識していく。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
41.2%	34.0%	11.9%	2.1%	10.7%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

（割合）

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
49.5%	38.0%	3.4%	1.4%	7.7%